

平成28年度第1回奈良市ボランティアインフォメーションセンター  
運営推進懇話会におけるご質問と対応について

| 対応する必要がある事項  | 対応・回答   |
|--|---|
| <p>会議室は利用人数だけでなく稼働率も算出した方が良い。</p>  | <p>稼働率については、参考資料1をご参照ください。平成23年度の開館以来、稼働率は時間別、月別ともに上昇しており、今年度の午後の稼働率は83.9%となっておりますが、午前は58.5%、夜間は49.2%で午後と比較すると余裕があります。</p>                                    |
| <p>会議室の利用時間帯の集計結果などから、現在どのような利用者が多いかを読み取り、今後どのような利用者を増やしていきたいかなど、センターの方針を考えるべきである。(仕事を持っている人に利用してもらいたいかなど、それとも主婦等の方々に利用してもらいたいかなどの方向性)</p>     | <p>奈良市は県外就業率が35.7%、市外就業率は49.9%という状況です。(奈良市人口政策プロジェクト会議の第2回会議資料「奈良市の就業状況等」から引用)<br/>このことから、平日、就業後に当センターを利用できる人は、かなり限定される、と推察され、夜間の会議室利用率アップは厳しいものがあると考えます。</p> |
| <p>ホームページは組織にとって有効なアピールの手段であるので、内容や仕組みを見直す必要がある。他都市の中間支援センターのホームページやSNSの活用状況をチェックし、良い点を真似した方が良い。また、引き続き職員が作成するか、業者に委託するかについても改めて検討するべきである。</p> | <p>業者への委託経費を平成29年度予算で要求しましたが、ゼロ査定でした。次年度以降も引き続き予算要求するとともに、職員が作成できるよう方策を練る必要があると考えます。</p>  |
| <p>会計講座の開催や職員が会計のスキルを身につけるなどの対応を考えるべきでないか。ニーズの掘り起こしも必要。</p>  | <p>会計に関することは重要と理解しておりますが、団体向けの講座については、会議の運営方法、広報手段などを優先的に開催しようと考えております。<br/>また、会計は内容が複雑で奥が深いため、時間をかけて職員のスキルアップに努めたいと考えております。</p>                              |